

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1943
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.37, No.8 (1943. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19430801-0109

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

わたのであつた。これに對して佐賀郡では足踏脱穀機によるもの五〇%で、動力化は五〇%に達してゐる。この地方に於いて收穫作業が刈取、結束、乾燥(小積)、脱穀の四作業に分離され、同時に進められるといふ形をとることによつて、如何に合理化されてゐるかは、帝國農會「福岡、佐賀縣に於ける農業共同作業實態調査」——特に作業單位、組織並に労働能率を中心として——(素材編)(昭和十六年三月)その他の資料の如實に示すところである。調製、依裝をも含めての收穫作業の慣行能率が南村山郡の九・七日に對して、佐賀郡の五・八日といふ數字を示してゐるのは、右のやうな作業慣行の反映に外ならない。たゞ、すでに明かなやうに、穀摺作業の作業慣行はこの調査項目からはふがれてゐる。

以上はこの調査書に於いてみ得る事柄の若干についてのべたにすぎない。すでに指摘したやうに、なほ調査さるべき二三の事項は残されてゐるが、從來この種の調査が全くなかつただけに、その利用價值は高いものといつてゝであらう。勿論、かゝる作業慣行は單にそれ自體として、これ等作業慣行の行はれてゐる諸條件をはなれて、理解さるべきではない。資料はそれを如何に讀みとり、利用するかによつて、その價值が生じてくるものである。

——昭和十八年八月二十日——

前 號

(第三十七卷
七月號)

目 次

幕末農間渡世調査の意義……………野村兼太郎

明治二十年代に於けるわが紡績業
労働者の移動現象に就いて……………藤林 敬三

歐洲西北部の農業事情と農業政策……………小島 榮次

——高水準經濟の農業諸問題——

小葉田淳著「史說日本と南支那」……………高村 象平

購 一 部 金五拾錢 郵税金貳錢
 讀 半ヶ年分 金貳圓九拾錢 郵税金拾貳錢
 料 一ヶ年分 金五圓四拾錢 郵税金貳拾四錢

編輯及び事務に關する一切の用件は發行所へ
 營業に關する用件は發賣所へ
 原稿締切期日は發行前月十日

昭和十八年七月二十五日印刷
 昭和十八年八月一日發行 每月一回一日發行

三田 禁	東京都芝區三田慶應義塾内
田 轉	江 田 保
會 轉	東京都赤坂區新町五ノ四二
學 轉	金子 鐵 五 郎
會 轉	東京都赤坂區新町五ノ四二
雜 載	金子 活 版 所
誌 載	南東三九四

發行所 東京都芝區三田慶應義塾内
 理 財 學 會
 配給元 東京都神田區淡路町二ノ九
 日本出版配給株式會社

購讀申込は慶應出版社へ(東京市芝區三田二ノ一)